



◇ 今回は、加藤真珠子さん（岐阜県警察官・大垣署勤務）の登場です！

～警察官をめざした理由～

私は今、岐阜県警察官として働いています。

なぜ警察官になりたいと思ったのか、それは、小学校4年生から習っていた空手がきっかけでした。

稽古や試合を重ねていくうちに、将来は空手で培った体力、気力を活かした仕事に就きたいと思うようになり、そして、人々の安全を守り、それを乱す者は厳しく取り締まる、強く優しい警察官にあこがれるようになり、小学校を卒業する頃には、“強く優しい警察官”が私の将来の目標になっていました。

～警察官採用試験～

この目標は、関高校に入ってから消えることはなく、高校3年生の時、どうしても警察官になりたいという思い(当時の私の学力では、行きたい大学に行けないことや、大学卒業後の警察官採用試験の倍率は、高校卒業後の採用試験の倍率と比較し2倍に跳ね上がること)から高校の先生に大学受験をせず、警察官採用試験を受けることを相談したところ、「わかった、今から警察官の方に連絡をとってみるからお話をうかがうといい」とすぐに準備をしてくださり、採用試験までのあいだ、サポートをしていただきました。

高齢者、女性、幼児、立場の弱い人たちを守りたい。強く優しい女性警察官になりたい。こういった思いから岐阜県警察官採用試験を受験しました。

私が受験したのは大学卒業以外の部で、そこから一次試験（筆記試験）、二次試験（体力試験、面接試験）を経て警察官になれる女性はわずか10名でした。試験から合格までの約2か月間は、緊張しっぱなしの毎日だったことを覚えています。

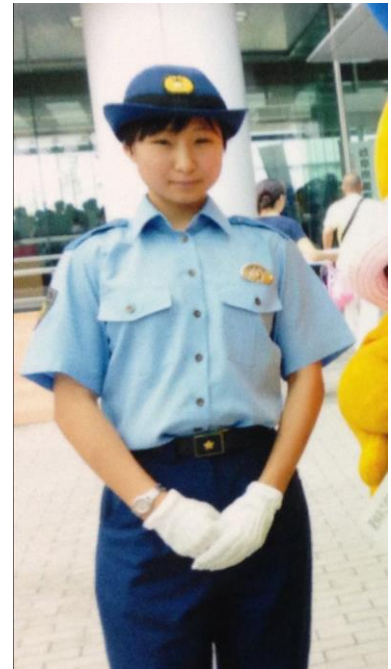
合格発表日は事前に知っていたので、当日は授業に集中しているようで集中できていませんでした。合格したことがわかったのは休憩時間の時で、嬉しくて嬉しくて、まわりの友だちにもお祝いしてもらいました。

～合格してから現場に立つまで～

採用試験合格に喜んでいたのもつかの間、警察官として採用されてから一人前の警察官になるまでの間は、辛い訓練にもついていけるよう、授業後、帰宅してからは、ランニングや空手の稽古をして日々体力づくりに励みました。

私は4月1日に警察官を拝命し、同期生とともに全寮制の警察学校へ10か月間（大学卒業者は6か月間）入校し、警察官として勤務するために必要な体力（毎朝晩のランニング等）、知識（憲法・行政法・刑法・刑事訴訟法）、技能（逮捕術訓練・拳銃訓練・その他検定等）の基礎を学びました。

そのような10か月間を終え、卒業生一人ひとりに勤務地となる各警察署が割り振られます。勤務地で



は3カ月間職場実習期間が与えられ、交番勤務のほかにさまざまな分野の仕事（刑事課・生活安全課・交通課等）を学ばせていただきました。そして、3カ月間の実習期間が終わると再び警察学校に戻り、次は初任補修科生として、再び3カ月間全寮制の警察学校で教養を受け、警察学校卒業後さらに実戦実習生として5カ月間、それぞれの勤務地で教養を受けながら勤務に就き、この21カ月間の過程を終了してやっと一人の警察官として勤務に就くことができるようになりました。

私は全寮制という厳しい学校生活の中で、警察官として必要な知識、心がまえを習得し、基礎体力、精神力を養うことができました。

それは、同期生とともに汗や涙を流しながらもおたがい励まし合い、寝食をともに過ごした学校生活があったからこそ築きあげられたものだと思います。同期生とは、それぞれ勤務地がちがう今でも定期的に同期生会を開催しています。

～警察学校について～

- ① 警察学校では朝6時半に起床、夜は11時消灯と決まっており、起床後は日朝点呼、警察体操、ランニング、清掃、朝食と行います。
- ② 午前9時から午後5時15分までは5限までの授業を受けます。3カ月に1回は全教科含めたテストが実施され、毎回テスト前になると皆必死にテスト勉強に励みました。
- ③ その後夕食、清掃を行い、午後6時半からは各自自習、トレーニング、入浴、クラブ活動、その他自由な時間として過ごします。クラブ活動は毎週水曜日に実施され、書道、パソコン、茶道の中から自分で選ぶことができます。私は書類作成時にパソコンを早く打つことができるようになりたかったので、パソコンクラブに入りました。各クラブで、講師の先生や同期の仲間と話し合いながら楽しく知識や技能を身に付けることができる時間となっています。
- ④ 午後9時45分に日夕点呼を実施し午後11時に消灯します。午後11時に消灯と聞くと早いように思いますが、充実した一日を過ごすことによってぐっすりと眠ることができ、とても健康的な生活を送ることができます。

～警察組織について～

みなさんご存知の通り、警察は、安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり、県民の期待と信頼にこたえる強い組織です。警察官一人ひとりがそれぞれ志をもって勤務をしています。

岐阜県公安委員会のもとに岐阜県警察本部があり、岐阜県警察本部の中に①総務室、②警務部、③生活安全部、④地域部、⑤刑事部、⑥交通部、⑦警備部、⑧警察学校、⑨各警察署（警察署22か所、交番99か所、駐在所136か所）が設置され、いつ、どこで、どんな事件や事故が起こっても対応できるような体制をとっています。

～女性が活躍できる職場～

岐阜県警察では現在多くの女性警察官が働いています。警察官と聞くと、“忙しそう”“プライベートがない”“体力的に辛そう”そんなイメージを持つ方もいると思いますが、現在では女性警察職員に対する職場環境や制度も整えられてきており、結婚や出産後もサポートが充実しているので、仕事が続けやすいように感じます。

私もこういった制度があることから、将来に対して不安を感じることはありません。さらに自分の能力、実力が男性女性関係なく認められる職場なので、昇任、給与、ともに男性と変わりませんし、努力すればするほどレベルアップすることができるので、とてもやりがいを感じます。

～今後の目標～

今後は、さらに実務能力、書類作成能力を高め、自分のできる仕事の幅をどんどん広げていくとともに、弱い立場にある方々や被害者に寄り添い、その方々の声にならない思いを女性警察官の特性を活かしながら聴取し書類に記すことで、事件解明や被疑者検挙、さらには犯人の反省につながればと思っています。

私は警察官採用試験を受けてから今年で4年目となりますが、警察官としては未熟で、いまだに覚えなければならないことも多く、日々勉強する毎日です。来年からは昇任試験（巡査部長試験）が受験できるようになりますので、昇任試験合格も目標に、巡査部長になれるだけの経験と知識、そして実力を高めていきたいと思います。

～受験生のみなさんへ～

受験生の方々は今まさに、受験に対する不安や緊張で悩み、親に八つ当たりしてしまったり、泣いてしまったり… 受験勉強で大変な時期かと思います。そんな中でも、目標を持つことがモチベーションにつながるかと思います。私は“強く優しい警察官”になりたくて警察官になり、今でもその目標を持ち続けています。漠然としてはいますが、この目標があるからこそ、辛い時も乗り越えられますし、仕事に対する向上心にもつながります。

何のために受験をするのか、行きたい大学へ行くため、将来の夢を叶えるため、どんな目的でもいいので、目標を持って取り組んでほしいですし、大学へ進んでも仕事をするようになって、その目標を持ち続けてほしいと思います。受験勉強頑張ってください！！

最後に、将来岐阜県警察官をめざしている方、また興味のある方、ぜひ採用試験を受験してみてください。私たちと一緒に地域の方々のために働きましょう！！



関高陸上部の恩師と仲間たち。